

3

効果的な行財政運営のため  
平成27年度行政評価を実施

Evaluation

**何**を実施したかではなく、限られた財源・人員でより大きな効果を得ること、また、事業の課題解決に向けて継続的に事務改善を行っていくことを目的に、田原市では毎年度、行政評価を実施しています。

● **効率性評価**  
事業の重要性や業務量に対し、コスト（事業費・人件費）の投入量が適正か、また、最少のコストで最大の効果が生み出せたかどうかを評価しています。

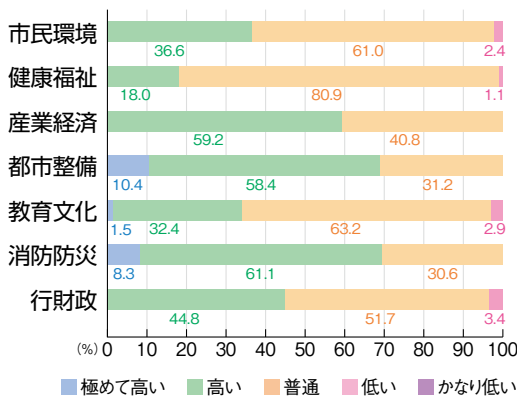
◆ **何を評価しているの？**  
平成26年度に実施した565事業のうち、評価すべき389事業について事務事業評価を行いました。実施事業を**妥当性・有効性・効率性**の3点から評価し、**事業改善効果評価**も併せて行いました。

● **妥当性評価**  
公的関与の必要性や市民ニーズ・社会動向を踏まえて、必要性が高い事業かどうか、また、事業の対象は適正かどうかを評価しています。

● **有効性評価**  
事業の目的達成に向けた業務内容や実施手段となっているか、また成果が上まっているかどうかを評価しています。

● **事業改善効果評価（分野別）**

●事業改善効果評価（分野別）



● **事業改善効果評価**  
評価を行った事務事業について、事業の課題解決に向け平成26年度中に実施した取り組みの結果、事業改善効果がどの程度あったかを評価しています。

● **事業改善効果評価**  
事業の課題解決に向け平成26年度中に実施した取り組みの結果、事業改善効果がどの程度あったかを評価しています。

事業改善効果の評価が低い事業については、取り組み内容の見直しを検討する必要があります。

■評価の低かった事業

- 合併処理浄化槽整備支援事業／介護職員初任者研修事業／教育委員会運営事務／専門学校地域貢献連携事業／選挙啓発事業

今回は、この中の一つを取り上げ、どう改善していくかをご紹介します。

どうやって改善しているの？

◎田原福祉専門学校  
専門学校地域貢献連携事業



【目的】

地域に開かれた福祉教育の拠点を目指すため、市民などを対象としたオープンカレッジや公開講座、市内の児童生徒を対象とした「二日体験入学」など福祉・介護について楽しく学べる講座を開催。

その他の事業についても、より効果的・効率的な行財政運営のため、今回の行政評価結果に基づいて、課題解決や事務改善に取り組んでいきます。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

▼政策推進課 ☎23局3507  
http://www.city.tahara.ac.jp/

【課題解決に向けた取り組み】

●平成26年度は広報活動を実施  
受講者が少ないため、広報たはらやホームページで参加を呼びかけたほか、市民館などにチラシを配布しましたが、増加につながりませんでした。

●平成27年度の取り組み

受講者アンケートの結果を生かして講義内容を見直し、参加しやすい日程・時間に変更しました。回覧板でもお知らせし、周知の機会を増やしています。また、類似の講座を行う他課との連携方法を検討します。



●市内小学生を対象に行った「一日体験入学」手浴体験